

医療の担い手としてのこころ構えA

(Attitude toward medical care A)

担当教員

学長 乾 賢一
准教授 野崎 亜紀子
講師 坂本 尚志

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学教養	1年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

社会や医療の多様化とともに、国民の健康を支える薬剤師が活躍する領域も大きく広がりつつある。これに伴って担うべき薬剤師の社会的な役割と裁量はますます重要なものになりつつあり、独立して担う責任も大きくなっている。そこで、本講義では、薬剤師が活躍する領域やその役割について概説するとともに、多様化した社会の中で揺るぎのない倫理・生命倫理・医療倫理の基本を学ぶ。

【授業の一般目標】

薬を扱う専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、社会や医療における薬学ならびに薬剤師の役割や使命を把握するとともに、備えるべき社会、生命、あるいは医療の倫理について理解する。

【準備学習(予習・復習)】

シラバスに記載されている学習項目と到達目標を理解して講義に出席すること。講義で配布された資料を元にして復習すること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	薬学と薬剤師の役割と将来展望	乾	薬学と薬剤師の役割について概説できる。	B-(1)- -1,2 B-(1)- -1,4 B-(1)- -2 C18-(1)- -1
2	薬について	西野	薬とは何か、また薬の発見や歴史について概説できる。	B-(1)- -1,2,3,4,5 B-(1)- -1
3	病院における薬剤師の役割	乾	病院薬剤師の役割と業務内容について説明できる。	B-(1)- -2,3 B-(1)- -1,2 C18-(1)- -1
4	地域医療における薬局と薬剤師の役割	狭間	地域医療における薬局と薬剤師の役割について概説できる。	B-(1)- -2,5
5	医薬品の開発と臨床試験	平松	医薬品が治療に使用されるまでの流れを概説できる。	B-(1)- -3
6	医薬品レギュラトリーサイエンス	豊島	医薬品、医療機器等の品質・安全性・有効性を確保するための規制科学について概説できる。	
7	薬とリスクとの関係	森本	薬剤性有害事象の現状を理解し、薬を安全に患者に提供する薬剤師としての心構えを考える。	B-(1)- -4 B-(1)- -1
8	生命倫理と社会秩序総論(社会の状況を知る)	野崎	社会のルールという観点から、生命の誕生に関する諸問題(生殖補助技術利用、再生医療安全確保等)を捉え、考えることができる	A-(1)- -2 A-(1)- -1
9	生命倫理と医療倫理	野崎	社会のルールという観点から、患者・被験者保護の問題を捉え、考えることができる	A-(2)- -1,2,3,4
10	プロフェッショナル倫理	野崎	医療プロフェッショナルとしての責任という観点から、倫理と法の問題を捉え、考えることができる	A-(2)- -2,3,4 A-(3)- -2,3
11	医療人と生命の倫理	坂本	人間のライフサイクルを通じて生命の倫理を考察し、医療人としてそこに関わる意義を理解する。	A-(1)- -1,2,3
12	生殖医学と生命倫理	坂本	誕生にかかわる倫理的問題とその諸論点を理解する。	A-(1)- -1,2,3,4,5
13	死と生命倫理	坂本	安楽死、尊厳死、脳死などの死に関わる倫理的問題とその諸論点を理解する。	A-(1)- -3,4,5 A-(2)- -1
14	社会の中の医療	坂本	医療に対する社会のニーズを理解し、倫理的諸論点を踏まえつつ対応する方策を考察する。	A-(1)- -3 A-(2)- -1,2
15	総括・まとめ			

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 講義ごとにプリント等を配布する。

【成績評価方法・基準】

定期試験により評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

坂本・野崎に対する質問は、研究室に来ていただければ結構です。

その他の講師については、高尾 (takao@mb.kyoto-phu.ac.jp) にメールで連絡してください。

【オフィスアワー】

乾：月曜12時30分 - 13時30分 (愛学館7F、メール：takao@mb.kyoto-phu.ac.jp)

坂本；金曜15時30分 - 17時 (育心館4F、メール：tskmt@mb.kyoto-phu.ac.jp)

野崎；金曜 4 限 (15時15分 - 16時45分) (育心館4F、メール：a-nozaki@mb.kyoto-phu.ac.jp)

出張等でオフィスアワーを持ってない時もありますので、メール等で前もって尋ねてください。